

TOPICS

アンサンブル・シヴィルが
ロンドンで演奏

学会員による弦楽合奏団、アンサンブル・シヴィルは、ロンドンの英国土木学会 ICE の行事で演奏を行った。これは、昨年 11 月の学会創立 80 周年式典の折り、来賓の ICE 前会長マストウ博士に両国学会員の合同演奏会をと話したことに始まる。その後、ICE の合奏団は無理とわかったが、ICE のロンドン協会の大きな行事で演奏してもらえないかとの打診があった。

17 名の団員のうち 14 名が参加可能とわかり、その旨をロンドン協会委員長マニング博士に伝えたのが 6 月 2 日であった。半年ぶりの練習をしてから、同伴夫人 3 名を含む 17 名が日本を立った



スミートン・ルームでのランチタイム・コンサート



ランチタイム・コンサートのポスター

のが 7 月 5 日であった。

ロンドンでは、ICE 会長リドレー教授やマニング博士らの大歓迎を受けた。ICE 本館で 2 回の練習をして、最初の演奏は 7 日午後、ICE のスミートン・ルームでのランチタイム・コンサートであった。その夜のロンドン協会の年次晩餐会では、300 名の客の前で熱気に満ちた演奏を行った。ICE の週刊ニュースの予告記事では、国際会議よりはるかに面白いとあったが、演奏後の記事は過大な賛辞に満ちていた。

大変なことを本当にやってしまったということであるが、今回のことが先方に強い印象を与えたことは確かなようである。全員休暇をとっての私費旅行であったが、旅費の一部を日建連に補助していただいたことを厚く感謝する次第である。

((株)日建設計・特別顧問 中瀬 明男)

'94 三陸はるか沖地震災害
調査報告書、発行される

三陸はるか沖地震 (1994 年 12 月 28 日発生、 $M=7.5$) は 20 日後に発生した兵庫県南部地震(阪

神・淡路大震災、 $M=7.2$) の被害が莫大であったために印象が薄くなっている。しかし、それぞれの地震による八戸市、神戸市の震動はほぼ同等で、共通する点も多い。しかるに両市の間で被害の大きさ、内容、市民や行政の対応などには大きな差が生じた。これらの点を比較検討することは

学術研究の面からも、行政上の実務の面からも今後の防災対策を考える上で重要な価値を持つと考えられる。

本報告書は八戸工業大学を中心に国の各機関、青森県、八戸市とその関係機関、日本道路公団、JR 東日本、鉄道総研、NTT、東北電力、地元のガス会社、地元新聞、NHK、地元テレビ、商工会議所等の協力の下に調査委員会を組織してとりまとめたものである。内容は第1部：地震および地震動、第2部：地震災害の概要、第3部：土木関連施設の被害、第4部：建築関連施設の被害、第5部：ライフラインの被害、第6部：応急対応と応急対策の6部からなる。もともと兵庫県南部地震を想定せずに被害の内容を後の世のために速報的に記録しておき、具体的な解析や研究は2次報告書に譲ることを前提としている。

それでも多くの特異な内容を含むものになっている。被害は八戸市に集中し、洪積台地に多く、軟弱な沖積層の上には少ない。八戸工業大学の建築棟の4階で地下20mの岩盤の中から屋上まで各5点の加速度が世界で初めて記録された。常時微動記録との比較、235km離れた十和田湖畔の液状化現象、八戸港における液状化対策の効果やその発生メカニズム解明への示唆、ほぼ同じ震源の十勝沖地震（1968）の被害との比較、小さな津波、住宅や住生活の具体的な被害状況のまとめ、水道の地震対策と無被害の耐震管、各機関の応急対応、応急対策など、これまでの報告書と比べて独特の内容を持っている。

なお、本報告書に関するお問合せの受付先は八戸工業大学土木工学科である。

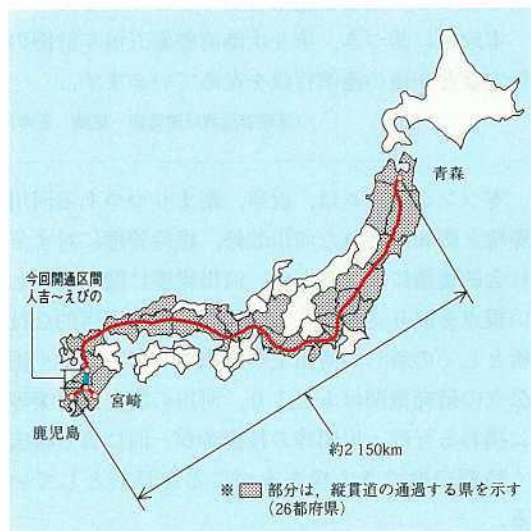
（八戸工業大学教授 工学部土木工学科 塩井 幸武）

「日本の背骨」完成

—青森と鹿児島・宮崎を高速道路が直結—

日本道路公団が建設を進めてきた九州縦貫自動車道人吉IC～えびのIC（延長22.3km）が完成し、平成7年7月27日供用を開始した。

開通に先立ち午前9時45分から行われた開通



高速縦貫道の概要

式典には、関係者ら約900人が出席、テープカットの後、約400台の車が通り初めをし、午後3時から一般の通行が始まった。

また、7月22日に行われた開通記念イベントには、約40000人の参加があり、ロールスロイス、ジャガーなど往年の世界の名車を並べた「ワールドクラシックカーフェスティバル」、青森県と宮崎県の北と南を結ぶカップルの「ハイウェイ結婚式」、ゲストの谷口浩美選手ら約5000人が参加した「ハイウェイマラソン」などが行われた。フィナーレでは、青森県のねぶた祭、秋田県の竿灯、人吉市のねぶか祭など東北、九州を代表する「夏



開通式